

# 市長から



## 市民のみなさんへ

山陽小野田市長 白井博文

### 4 「動き始めた まちづくり市民会議」と 「まちづくり市民会議 市の名称」部会の募集について

#### 動き始めた 「まちづくり市民会議」

7月7日、「まちづくり市民会議」の中で、最初に設置された「市教育施設の使用料」部会の第1回目の話し合いが行われました。早くも活発な意見交換が始まり、委員のみなさんの意気込みがこちらまで伝わってきました。2回目以降、どのように議論が展開していくのか、大きな期待感を抱かざるをえません。

「この会議に参加し、意見を述べるだけでなく、私も行政のしくみを勉強したい。自己研鑽のために参加しました。」～会議の冒頭、自己紹介をされた委員の中のお一人の方がこのように述べられました。確かに今回、市民会議にお集まりの20人の委員のみなさんの役目は、旧市町で有料、無料と格差がある教育施設使用料について、一つの提言をまとめていただくことです。しかし、その結論に至るまでには、さまざまな意見に耳を傾け、それぞれが自分の考えを深めていく必要があることでしょう。その過程で生じる委員のみなさんのエネルギーこそが、山陽小野田市の新しいまちづくりを進めていく上での“礎”となるはず。 “市民参加による市民本位のまちづくり”～私は市長になって以来、一貫して市民のみなさんに訴え続けてきましたが、それに共感し、「市長とともにまちづくりをしていこう」と意気を感じた市民の方がお集まりくださったことについて感激するとともに、感謝の念に堪えません。しかも無報酬で参加していただいている点でも、まったく頭が下がる思いです。委員のみなさんには、「行政に参加する」というお金でははかれない貴重な体験を持ち帰っていただき、各方面で活かしていただくことを希望します。

#### 「まちづくり市民会議『市の名称』部会」 の募集について

そして、この7月15日号の広報で「まちづくり市民会議『市の名称』」部会の公募についてお知らせします。

今回、仮に市の名称を変更した場合、看板の付け替

え、電算作業などで、経費が約8500万円ほどかかるという試算があります。「そういった情報を市の名称アンケートを行う際に、参考数値として知らせるべきではなかったのか？」という市民の方からのご意見もいただいています。確かに予備知識をお伝えしてアンケートを行う方法もあったと思います。結果も違っていたかもしれません。しかし、私はあえて、そのようには行いませんでした。「自分のまちの名前に違和感を覚える」という市民の声が果たしてどの程度あるのか、“感触”を知りたかったためです。結果は前号の広報でお知らせしたとおりとなり、考えを深める場として、「まちづくり市民会議『市の名称』」部会を設置することになりました。

第1回目の協議の冒頭、先ほどの経費のことを含め、具体的な資料について説明した後、話し合いをはじめさせていただきます。この「市の名称問題」に関しては、市民のみなさん、一人ひとりが様々なお考えをお持ちのことと思います。20人の委員以外の方も、公開の場で行われる部会を傍聴していただければと思います。ホームページにおいてもその内容をお知らせしますので、ご意見、ご提言をお寄せください。

#### 7月28日(木) 19時より 福田公会堂で「対話の日」をはじめます

7月28日(木)、福田公会堂(下福田)で19時から第1回目の「対話の日」を行います。ざっくばらんに市民の方とお話ができることを今から楽しみにしています。お近くの方、ご都合のよろしい方は、是非お越しください。お待ちしております。

**7月の  
対話の日**

- とき: 7月28日(木) 19時から  
(1時間半程度の予定)
- ところ: 福田公会堂

「市長から市民のみなさんへ」についてのご意見、ご感想をお寄せください。

〒756-8601  
山陽小野田市企画広報課広報係 (FAX)83-9336  
(E-mail) ki-kouhou@city.sanyo-onoda.lg.jp